

オフィサー（CCO）として、ブランドマネージメントも担当するようになりました。お客様の目に触れるものは、カタログからショールームまで全てブランドに通じます。宣伝やマーケティングが責任を担っていたブランドコミュニケーションの分野に至るまで、デザインのトップが掌握する体制は、その後他の会社にも広がっていききました。

私はデザイン部門のトップになって以降、三つの課題を自分に課していました。一つ目は、世界から評価を受けていなかった日本の車のデザインを確立させ、世界に知らしめることです。そして二つ目は、日本の企業におけるデザイン部門の責任範囲を広げ地位を向上させることです。最後は、デザインの開発環境の改善です。日本の車会社は、環境づくりに投資をしませんが、私は世界各地に最先端のデザインセンターを設立してグローバルな

クリエイティブチームづくりを目指してきました。2017年3月に日産自動車と退くまで、ほぼ三つの目標は達成できたのではないかと自負しています。私が築いてきたことをベースに、後輩たちがさらに発展させてくれるのを期待しています。

#### 新たな挑戦 デザインスタジオ創設

実は2019年1月に、アメリカロサンゼルスにデザインスタジオを設立しました。日産を退社して約2年になりますが、準備に1年以上かけたプロジェクトです。

ここはいわゆるクライアントの依頼を受けてデザイン開発をするデザイン会社ではありません。将来のモビリティなどを自主的に開発します。そのため、出資する企業はクライアントとしてではなく、パートナーとして参画してもらっています。できあがっ

た成果をどこかの企業に購入してもらうというスキームになります。

電気自動車や自動運転など自動車産業が過渡期にある今、既存の自動車企業とは別に、新規参入企業が相次いでいます。そうした時代だからこそ、新しい形のデザインビジネスが成り立つのではないかと思っています。

場所はハリウッドヒルズ、その土地特有の、人を惹きつける魅力と、近くにあるArtCenterの学生インターンやフリーランスで働く卒業生フリーランスデザイナー、そしてパートナーの3者がうまく刺激し合うことで、新しい可能性を探っていければと思っています。

ようやくスタートを切ったばかりで、まだまだ試行錯誤が続いています。カーデザイナーとしてのキャリアを一度終えて、今までにない仕組みでカーデザインに取り組むことに挑戦しようと思っています。



1



2



3

- ① ヴィークロス、2013年に東京モーターショーで好評を得てその後量産化された。革新的なコンセプトは世界的に多くの影響を与えた。
- ② ロサンゼルスのアートセンターデザインフォーラムで、同窓生のBMWデザインディレクター（当時）のクリス・バングルト、McLarenデザインディレクター（当時）と共に。
- ③ 歴史ある米国EyesOn Design Lifetime Achievement Awardを日本人として初めて授賞（2010年）。